

Handwritten text on the left fragment of aged paper, including characters such as 華, 武, and 部.

Handwritten text on the right fragment of aged paper, including characters such as 市, 川, 業, and 標, along with a red circular seal.

前巻

而一読標の表りなくおまの事と思ひ
ます。社も至極元氣で暇務致しと申りま
故違ふ而放念の程を

時前兩種々の繁化の事、せう入る事、の

夏の状況は如何ですか。比較的天候にも恵
まれて良好のやですわ

忙かしい事でせうが、打りかありまら
便りを願ひ致しませう

父母も相渡らざるおえ集のことと思ひます
但し事は年々やすね見なごいことに老け
て行くのがわかるやうですお互に協力して
一日も長く長らえさせてあげたいと思ひます
冥教に願ひ致します

姉様も之分仕を大切にさせて下さい
眞黒にあつて

信
時為柄お互に仰奉公に遠道致しませう
此方

是と標

北

東京市

宇田川新太郎様

紙

呉海軍工廠有馬事務所二

宇田川秋三郎



東京市

宇田川新太郎様

郵便検査



八

大日本郵船株式

宇田川社之部



No.

下さい 精進神社へ 来り 時には此日あまり 来り たり
をし たい 行て 下さい

元之人も 私より 悪い 帽子や 洋服を 着て いたすよ
不審とか 私のところへ 来り 時は 洋服を 着て 来り 下さい
その 時は 敬壇長とも 會えり と 困心 いたす
此の手紙は 辭表に 付して 名を したり せん

乱筆 乞 矢 禮

秋 迄

東京市

宇田川新太郎様

軍事郵便



軍部武苑

宇田川新太郎

相取

皆様而目出及う回曆をなが陣中より
此祝詞申し上りまは

此日振も而意ふく小生とてもる種元も米で此の後
願の慶もふく其に此の意義なる皇紀二千九百二十年
の新年を迎此の聖戦大業に思ふ致す時

市秩威の店大無邊なる痛感め可次第で而は
有る少生等此の意義ある新年を迎ふに際し
覚悟致すべしは人後如何なる戦況に逢過

果を將來の念し聖戦目的完遂に逢過すべし
ありまは

如何に強風吹き捲も如何に怒濤は逆捲も

如何に敵船多くとも米英智徳の先駆といへ
断じて奮戦力斗致す決心でありまは

たが如何に米英が斯くふるも今日迄は其の先
駆者といへ今日に到りと思ふに人後の作戦には
或多の荆棘の途もあるべしと思ひます

大東亜建設の業も亦一歩に成るものはあり
まは斯くあれば吾々も戦後も局他作戦の成功
の甘味に碎ふるべしと望まふことありまは

未筆下ら皆様の御多幸を逢ふ洋じより
賀奉りまは

年甲川流一統標

社印

相照

時下晩秋の候に一統様お変わりもあしく
益々御健康よりい羨望のしりとり遊樂

申しとげます

不肖、松も陰と

暮れりまらて、極元氣で、形務に勵ん
で居りますれば何卒、安心下さい

さう不肖、松入承次、早もこの年と
満ちまんと致し、居ります

今日に到る迄、此れと云ふた道もあしく
甘事、此年云、致すことのお来す

この日は皆様の少芽、後と、指導の賜と
深く感銘致し、居る次第で、御座る

就きま、これは今回、是年、満期と、い
所屬、上官に再現役の、は、せまられ

少あからず、當途、歸、居る次第、で、御
存じます、が、現、今、此、状、勢、の、鑑、み、日、本、

男子、が、あ、る、極、尊、心、に、報、ず、る、時、が、
あると思えば、然、事、籍、の、身、を、置、く

事、は、名、譽、で、あ、り、又、當、然、の、り、で、有、る
と思えます

自分、孫、子、に、片、兩、親、も、想、談、も、致

さす尚筆籍ととすも
以致致しましむれば何卒承知を
下さすますや
又今般郵便物の目し取端が致しく
あり自然ゆせ音からにふるかお判りま
せんが松も益々奮発して一死存公と推言
いますから年深きゆ両親又忠告
一統益々自愛す一統後の傍に全
を期せられん事と特にと懇願申
上す

そのへ

松之印

少文上殿

東京市

宇田川新太郎様

軍事郵便 検閲済

宇田川新太郎

宇田川新太郎

過去三年有餘鍊えられた腕を一日たりも虚しく
病衣を包むを憚びず心若く存し居りたまひしかし
必らずふをいつて見せまはすから安心し居り下さ
お互に事々喜し居り射は安心し居り是れ先
去り付りませが金とぞ

斯うして居るといつ一家の事を思ひ出され一
家事に勵んで居る様子がうかがはれ
先々の業船第一報ふくの通信もふが着いたぞせうね
ぞは又後候まで

香取の長換朝政一旨の旨自愛と望む

兄上殿

横須賀舟氣

新井武成 下二

江戸市川村

前略

兄とく相妻らざる御北健に於てお養命の事一と
思ひます決戦に際し幸ひ不幸か存りませぬが
お名にも應せざる家郷に於て玉土防備に盡る力
される事一も亦大なる義務のつひす
常一敵にも再友の敵定敵表を受けて一段と緊張
の友も加へ益々増産挺身の程諫に力強く思ひ
ます

私もお蔭で玉極名氣で軍務に精励致し
おります故に安心下さい

兄弟御一同も喜んた事一はなれでせう

ふうねはお願傍々私の考へも打聞けてお話し
ますどうか笑つて聞て下さい

私も知らずくのうち二十八九才の妻を迎へ
た若い時にはお人の考へもななく唯平一月な真の日

其の目も送て来す。然が年一も積むに従つて
たに事一にも考へさせられるやうになりませう
勤務上に於ても而論熟慮断行を以て務めて居る
つもりです。がなつかしくうましく行なひませう
生活そのものにとりて一種の物足りなさを感ぜし
させられます。

年のせいではせうか

また、松より若い友達が立派にくまひた生活をして行く
のを見るに自分には其の力のない事一を自分ながら
不甲斐なく感ぜます。

而し自分にもくまひた生活のさうくは来たる自信も
ありません。かう迄には骨格な男ですが女性に對
しては関心は甚だあつた事でもなつかつたが、努力を
自割りにせよとめにして居ります。それは私を思ふ
て心配して居る父母兄弟ある故に此をなすを頼り

信賴し此の間にまかせてあればこそです
故に此の間に之ときめてくれたに就くでもらうつもり
で居ります此の間に之がまだ早いと言ふなら歳年でも
待ちます

而し軍人故に時機が早いと言ふのなら私には
一生良い時機はないと思ひますまた之後の生活に
於てもどうやらやつて行く方法もあると思ひます
吾家も急存亡の決戦に於て軍人が一身をめぐり
見るとする時をけはないとしかられるかも知れませんが
其の判別は私にもつきません

どうか私の気持ちも御察し下さいまして充分考へ
たくらへる道もたなる判別し御返信もお願ひします
時局の急々たる矢折から御自重な書に

御存

兄上様

為美人此を印

己伸

先の取柄です。己伸は決して會益な使ひ方は致
しませぬ。私を信じて下さる
所知らなく。〇〇に於ける事。と思ひます。から
紙にても是分御想出。来ると思ひます。
一、**お會お**種々お話。の。有。と思ひます。が。〇〇と
は。〇〇。百里の遠を隔て、おつては。弟を。送。くる。も。容易の
ことでは。ありませぬ。から。ね。

おのり

相取

朝日らしくは昔音所へまゝだが
古雨親は元は一統お隣りもふく
益々古元氣ありて起居れ由ふより
此事を成び居りませぬ

先白此便りよりあるは豊田さんが為
事務所に居るや此事は古座居中から
為方は一向見えあたりませんたしか別不
處にせし思ひませぬ松も枝衰らせず極元氣
の軍務に服し居りませぬ處今右記

の處は居計書更なりませぬ

今まがまゝありませぬ大東五戦海上等
一線は乗り出す機会を再び得日夜大い
奮闘中なり居りませぬ事情は一切
申上る事を許されせん其の兵不悪心
らざる涼願下さる若しお父さんが小野寺
茂原さんや今いませぬたら宜敷は信へ
下さるは暑き敵より抑から皆様
古体と大切

古文上様

横須賀局 糸付屋 形武藏二三

洋文川 林三郎

